



和かつば

和食ダム 現在の様子

日ごろより、和食ダム事業へご理解とご協力いただき、ありがとうございます。
 現在和食ダムは左岸再掘削のための準備工事(掘削土砂を集めるヤードの造成)を行っています。
 また、工期の延長に伴い長期間タワークレーンを使用するため5月に部品交換等メンテナンスも行いました。
 今後は6月末から10月の間に右岸天端の管理棟基礎部の掘削を行う予定で、作業の際右岸天端は通行止めとなります。通行したい場合は、お手数ですがダム本体工事JV事務所(TEL:0887-33-2868)まで連絡をお願いいたします。

工事用車両の通行量も増え、工事用道路整備等も始まりますが、安全と環境に配慮してより一層頑張っています。今後ともよろしくお願いいたします。



掘削土砂集積ヤードの造成



左岸再掘削にむけて、ダム上流で土砂集積ヤードを造成しています。
 再掘削で発生する土砂はここに押し落とし、集積の後4tダンプで現場内の残土置き場まで運搬します。

現在、河川水を上流からヤードの下を通して下流に流すための転流工が完了しています。

今後は、大雨等による増水時に備えた排水路(余水吐き)を設置し、引き続きヤードの造成を行っていきます。



河川水を流すためのコルゲート管を埋設



盛土で配管を保護



上流の河川水を下流に流します

タワークレーンのメンテナンス



タワークレーン自らタワー部分を上から吊って抜き取り高度を下げていきます。
 一番下のタワーを外した後、県内で一台しかないドイツ製の400tクレーン車にて夜間にアーム部を解体しました。
 部品取り換え等整備の後、逆の流れでタワークレーンを再度組み立てて完成です。

和食ダムで重要植物種発見



ギフベニシダ

NT:準絶滅危惧(高知県レッドリストより)
葉は濃い緑色で光沢があり、表面に鱗粉と胞子をつけます。葉の先端部分は細く伸びた形をしています。
低山地のやや乾いた林の中、民家の石垣等で見かけることが多いです。

5月に左岸再掘削・工事用道路施工箇所にて、絶滅危惧種等の重要植物の有無・生育状況について現地調査を行いました。その結果、高知県レッドリストで準絶滅危惧に指定されている「ギフベニシダ」が見つかりました。

今後は専門家の方に意見をいただき、工事の影響が少ない場所に移植する等適切に保護していきます。

清掃ボランティアへの参加



6月17日(日)芸西村の環境の日に村内で地域の清掃が行われました。和食ダム建設事務所も瓜生谷地区東谷にて草刈を実施しました。天気は程よい晴れで暑すぎず作業に集中できました。短い時間でしたが、芸西村の美化活動のお手伝いできてよかったです。

参加者の皆様、お疲れ様でした！



芸西村の史跡紹介【第14弾】

うさはちはんぐう
「宇佐八幡宮」

《宇佐八幡宮》

宇佐八幡宮は和食の金岡山にあります。
慶長十四年(1609年)に建造され、大分県の宇佐総本社より迎えられたと言われています。
もともとは「正八幡宮」と呼ばれていましたが、明治元年(1868年)に宇佐八幡宮と改名されました。
昔は、和食郷五ヶ村(和食・西分・馬ノ上・現在の安芸市赤野・穴内)の総鎮守でした。
宮内には絵馬があり、神功皇后と武内宿禰、羽柴秀吉と四方天但馬守の絵馬が拜殿にあります。明治15年に描かれた川中島合戦の図は現在は芸西村文化資料館に保管されています。

次回は「阿弥陀堂」です。

お知らせ



平成29年9月25日より配布しているダムカードですが、現在までの配布枚数は789枚で、日本全国からたくさんの方々に来訪いただいています。

ただ、配布場所となっている和食ダム建設事務所の場所が少しわかりづらいという声もありましたので、事務所ホームページの案内を更新いたしました。ぜひチェックしてみてください。また、ご不明なこと等ありましたらお気軽にお電話ください。お待ちしております！

次の和食ダム便りは8月下旬を予定しています。よろしく願いいたします。